

自社で壁紙のデザイン・印刷・ラッピング・ 施工というワンストップ体制の確立で、 大幅な納期短縮が実現した



株式会社 オスク

平成
27年度

事業計画名 既存施工技術と印刷技術を組み合わせた新たな製造プロセスの構築

取り組みの経緯

同社はブラインドやカーテンなど、インテリア資材の卸売販売業として1991（平成3）年にスタートした。現在は、施工やリフォーム工事を含めた業務も取り込み、成長を重ねてきた。

同社の内装業務の一つに、壁紙施工がある。現状では、施工する職人の力量によって壁紙施工の仕上がりに差がある。このため、再施工のために壁紙を再発注することがあり、納期遅延が発生することもある。また、作業中の段階で、依頼主の当初のイメージと異なることがあり、壁紙を変更せざる得ない場合は早急に対応できなかった。

このように、現在の壁紙施工には時間を要することが多く、計画の遅延や納期的な問題から、失注するケースもある。これらの課題に対して、同社は高解像度壁紙製作システム（同社の壁紙施工技術＋壁紙印刷技術＋のりづけ技術）を導入し、新しい施工サービスプロセスを構築した。

事業の具体的な内容及び効果

まず、自社で壁紙を製作するために、ラテックスプリンター（デジタルプリンター）を導入した。紙はもちろんフィルムや布などにも高解像度で、美しくシャープなプリント画質を実現した。プリンター内部で硬化されるため、そのまま加工や施工ができる。突発的な変更や施工ミスに対して、社内で壁紙を



高解像度の印刷が可能なデジタルプリンター。PDFデータやスマートフォンの写真など身近な素材を利用できる

作成できるシステムがあれば、仕入れ先に再発注する必要がなく、遅延の抑制となる。また、依頼主の希望に、柔軟性を持って対応できる体制づくりができた。

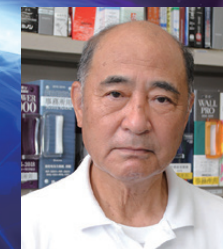
さらに、自社でのりづけできるラッピング設備を導入。現行では、現場で職人が壁紙にのり付けをして施工をしているが、職人によって接着剤の塗布量や希釈率にばらつきがあり、仕上がり品質に差が出ることもあった。壁紙製作時にのりをつけて裏に保護フィルムを貼る機械を導入することで、品質の向上と均一化が図れた。また、のりをつけて販売する



ラッピング設備があれば、現場でのりづけの必要がなく、フィルムをはがすだけで簡単に施工ができる

大野 進さん 株式会社 オスク 代表取締役

今回構築したシステムは、新しい事業といっても、イノベーションの連続であり、まるっきり新しいわけではない。これまでの事業の足元を見て、そこから「にじみ出てくるもの」を頑張っていければと思っている。今までちゃんとやってきたことが、土台になっている。



事業概要

自社での印刷技術と施工技術の問題解決に取り組み、自社でのデザイン製作、印刷、ラッピング技術などに一定の成果が得られた。そして、自社の高解像度壁紙製作システムにデザイン作成施工をプラスしたワンストップ体制を確立した。

新たなサービスを提供できるようになった。印刷からフィルム加工、施工までワンストップで行えることで、全体の工程が10.7日から3.9日へと大幅な短縮が実現した。

事業成果の活用・今後の取り組み

現在は消費者の好みが多様化し、シンプルな壁紙よりもオリジナルの壁紙への要望が高まっている。そういった中、ある材料に印刷した壁紙は、貼ってはがせる壁紙として、同社が材料までを提供して依頼主自身で貼ることもできる新しい素材として今後の展開が期待できる。

スマートフォンで撮影した写真でも簡単に利用できることなど、プリンターの特徴を知ってもらうために、小物やシールに印刷し、コミュニケーションツールとしてPRに利用していきたい考えだ。



デジタルプリンターは、いろいろな物に印刷できる。合皮に印刷した、PR用のバッグ

自社でのオリジナルの壁紙製作は、卸販売、施工に加え、新たにメーカーという分野への進出を意味し、他の内装業者との大きな差別化となる。今後は、デザイン部門を自社内に新設し、デザイナー物の商

品化を目指す。それらのラインナップをインターネットで紹介し、注文を受ける体制作りを整えてきたいという。



貼ってはがせる壁紙。壁紙の貼り替えは簡単にできるので、ショップなどで季節ごとにイメージを変えて店舗をPRするという使い方もある

株式会社 オスク



〒311-0105 那珂市菅谷605-30
TEL.029-295-4700
FAX.029-295-4713
<http://www.iii-osk.co.jp>
資本金：1,000万円
従業員数：20名

インテリア資材卸・販売、インテリア工具・機械販売、家具・オフィス家具・工事用品販売、内装仕上げ工事、リフォーム工事、デジタルプリント壁紙製造・販売・施工